



2019.10

ADF Newsletter

一般社団法人アジアデンタルフォーラム

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-25-6 ニューライトビル 204 ☎ 03-3830-0304 fax 03-3830-0307

[vol.001]

目次

01 10月24日 第3回理事長懇談会

02 ①タイにおける先端歯科医療普及拠点構築事業

03 ②中国 Sino-Dental (北京)

04 ③タイ官民ミッション

01



▲ Sino-Dental 集合写真

■ 10月24日第3回理事長懇談会

2019年上半期までのADF事業結果

1 タイにおける先端歯科医療普及拠点構築事業 (2018年10月～2019年1月)

2 中国Sino-Dental (北京) (2019年6月9日～12日)

3 タイ官民ミッション (2019年6月19日～21日)

2019年下半期以降のADF事業計画

1 第40回ミャンマーデンタルカンファレンス (ヤンゴン) (2020年2月)

2 中国Sino-Dental (北京) (2020年6月9日～12日)

3 タイにおける予防歯科セミナー (ADF主催) (2020年3月～12月)

4 タイにおける高齢者歯科に関する事業 (2020年度)

■ 第4回理事長懇談会開催予定

- ・2020年1月21日 (火) 13:30～ (予定)
- ・場所: TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター (予定)



株式会社モリタを代表に ADF がコンソーシアムメンバーとして参画した

先端歯科医療普及拠点構築事業

2018 ~ 2019

02

■事業期間内の実施目標

- タイ国内に「CAD/CAMセンター」「トレーニングセンター」「メンテナンスセンター」を統括する「総合サービスセンター」を設立する。
- 「CAD/CAMセンター」を設置し、診査・設計データの授受と補綴物の製作を行い、Digital Dentistryを推進する。
- 「トレーニングセンター」を設置し、CAD/CAMセンターの運用をサポートするため、現地歯科医師・技工士を対象に、実機・材料を使用したテーマ毎のハンズオンセミナーを開催する。
- 「トレーニングセンター」にて、予防・高齢者歯科に関するセミナーを開催し、現地歯科医療従事者をサポートする。
- 「メンテナンスセンター」を設置し、現地サービスマンを対象に、大型機器の修理対応研修会を実施する。

■実施体制

		関係事業者	実施内容・役割
コンソーシアム	代表団体	株式会社モリタ	総括・企画・情報集約
	日本	(一社) アジアデンタルフォーラム (ADF)	現地折衝・トレーニングセンター運用
	現地	サイアムデント	総合サービスセンター設置・運用、現地調査
協力団体	現地	Thammasat University	Digital Dentistry (CAD/CAM) Preventive Dentistryの推進
	現地	Srinakharinwirot University	Preventive Dentistryの推進
	日本	東京医科歯科大学歯学部	教育支援
	日本	昭和大学歯学部	教育支援
	日本	株式会社東京技研	メンテナンスセンター運用、機器調達
	日本	ジェイエムエンジニアリング	メンテナンスセンター運用、機器調達
	日本	日本企業群 (ニッシン、YDM、グリコなど)	トレーニングセンター運用、製品調達

■これまでの成果

- 総合サービスセンターを設置
- トレーニングセンターにおいて、タマサート大学歯学部補綴学の講師、研修生、学生向けに「Digital Dentistry Seminar」を、現地デンタルナース向けに「Preventive Dentistry Seminar」を開催
- メンテナンスセンターにおいて、「口腔内サクシオン」「口腔外サクシオン」の設置・メンテナンス研修と、「診療台」、「X線撮影装置」のメンテナンス研修を開催
- タイ歯科関係者 (Dental Innovation Foundation、Dental Cousin、Thammasat University、Srinakharinwirot University) との関係を強化



■今後の課題

- ① 総合サービスセンターの役割の明確化と収益化
 - ・ 総合サービスセンターは、タイの歯科事情に合わせて、日本の先端歯科医療技術を輸出する役割を担う。テクノロジーの分野では企業選定、製品提供を行い、歯科医療技術の分野では教育機関との窓口となる。これらを日タイ双方でアレンジできる人材が必須であり、ADFとサイアムデントを中心に構築していく。
 - ・ 本年度と2019年度は、総合サービスセンター運用を軌道に乗せる活動に注力するため最終赤字を予測する。翌年度は、タマサート大学の病院建設、Dental Nurseコースの第1期生卒業が重なることから、2020年度をターゲットに大型機器及び材料販売体制を構築しておき、半年黒字が実現できる体制を目指す。長期的には、持続可能な体制を目指し、日タイ双方での資本関係の組織化を目指す。
- ② 日本企業の巻き込み
 - 総合サービスセンターを最大限に活用するために、日本側での企業を巻き込むスキームが必要となる。独資で進出が難しい企業及びテストマーケティングを検討している企業等、日本企業が進出する仕組みを構築する。
- ③ タイの歯科需要と製品選定
 - タイの歯科医療技術も向上しており、日本側からの提供価値も小さくなってきている。高齢化などの社会的要因の変化への対応などは日本が先端的に行っており、これらに治療技術と製品を組み合わせた総合ソリューションの提供を行っていく。

※経済産業省 国際ヘルスケア拠点構築促進事業最終報告会資料より引用



中国 Sino-Dental (北京)

2019.06

03

2019年6月9日～12日、 中国北京で第24回シノデンタル (Sino-Dental) が開催された

シノデンタルは、中国国家衛生健康委員会の主催で毎年6月に中国国家会議中心（2008年北京オリンピック会場に隣接）で開催される大規模なデンタルショーで、参加者数130,000人以上、参加30カ国以上、企業展示821社（2018年）である。ブース数は年々増加しており、特に昨年より中国企業のみでの展示会場も増設された。本年は中国企業の展示品では、CAD/CAMなど最先端の製品が見られるようになり、欧米企業や日本企業に接近する中国企業の急成長ぶりを実感した。欧米企業では、ドイツやヨーロッパの企業が展示に積極的で、展示ブースの一等地を占めている。中国市場の成長を見越して着々と認知度を高め、シェアを獲得しようとする姿勢が見受けられる。

日本企業の大半は国ごとのエリアに展示している。広さは数年前と比べて微増しているが、相対的には日本のエリアが縮小しているのが実情である。中国市場で存在感を維持することの難しさを実感する。

本行事の特徴は、企業のブース展示だけでなく、主要国からの学術講演、さらに製品の即売も行われることである。

毎年日程3日目の6月11日には、ジャパンセミナー（日本先進歯科臨床講座）が行われている。これは、中国衛生部と日本歯科商工協会、アジアデンタルフォーラムが主催する行事で、日本企業がスポンサーとなり、日本人または中国人の講師による学術講演を行っている。本年は日本製品の紹介、その製品の効果的な利用法など6演題行われ、定員いっぱい参加者が盛り上がった。

アジアデンタルフォーラム（ADF）は、本年のジャパンセミナーで江藤一洋理事長が冒頭の挨拶と演者への感謝状贈呈、鈴木彰専務理事が司会を務めた。



製品の即売は、中国のデンタルショーのひとつの特徴と言えるかもしれない。中国全土から来場する中国人参加者が、歯科材料の買い付けに来ているものと思われる。日本に比べて国土が広く、流通網が整備途上であるため、機材の購入に苦労している実態が背景にあるのかもしれない。

中国製品に対する一般的なイメージは、安かろう悪かろうと言うものだろう。実際、ダイヤモンドバーやダイヤモンドディスクが1本数十円で即売されており、激安と引き換えに切れ味がすぐ落ちるディスポに近い製品もある。一方、コードレスの光重合照射器は2000円以下だが、耐久性や性能はその金額から見ると妥当と言える。半年で壊れるものもあるが、数年使っても劣化しない耐久性の高い製品もあり、当たり外れを許容できるユーザーは必ずしも低い評価をつけないだろう。ASEAN諸国のように購入価格に安さを重視する市場には中国製品が浸透する可能性を感じた。一方比較的值段の高い製品には、日本製に近い品質のものもあり、今後中国製が高価格、高品質の歯科器材市場に於いて浸透していく可能性も推測できる。



今後中国を含めたアジア諸国の経済成長とともに、歯科医療需要が拡大、歯科医師数の増加と相まって歯科業界が活況を呈するのは確実と予想できる。日本での高齢化、人口減少で歯科が縮小すると予想される状況とは全く正反対の現象が見えてくるだろう。これからの歯科医療の需要国は先進国ではなく、アジアを始めとする人口増加国かもしれない。

（鈴木彰 専務理事）





ADF が MEJ に協力して実施した

タイ官民ミッション

2019.06

04

MEJニュース：タイ官民ミッション

no. 2019 - 001



タイ官民ミッション

2019年6月



タイ・日本デンタルセミナーでの集合写真

2019年度タイ官民ミッション ～予防歯科に関する日本の事例と制度紹介～

2019年6月、タイ・バンコクにおいて、予防歯科を含む日本の歯科医療と関連する制度の紹介を目的に、歯科関連企業5社を含む参加者総勢23名(事務局含む)でミッション活動を行った。

タイへのミッション団の派遣は、2017年(糖尿病・内視鏡がテーマ)に続いて2回目となる。

◆官民ミッションの概要

期間：2019年6月19日(水)～21日(金)

場所：タイ・バンコク

参加者

【ミッション団長】 MEJ理事 江藤一洋

【医師】

・新潟大学大学院 歯医学総合研究科 魚島勝美 教授

・医療法人社団 ヘル歯科

鈴木彰 理事長

【参加企業(5社・五十音順)】

サンスター株式会社、株式会社松風、

株式会社モリタ、ライオン株式会社、

株式会社ロッテ

【政府機関】 経済産業省

【関係団体】 (一社)日本摂食支援協会、

(一社)国際歯周内科学研究会、

(一社)アジアデンタルフォーラム(ADF)

◆各プログラム概要

タイFDA訪問

6月19日午前中、タイFDAを訪問し、医療機器部門、食品部門と協議を実施した。日本の歯科医療のタイでの展開による貢献と歯科医療に関わる日本製品の許認可に関する提案、国民への啓蒙活動の重要性およびその一環としての特定保健用食品(トクホ)制度の紹介を行い、タイFDAからは医療機器・食品に関する多くの質問がなされ、医療機器承認手続きの紹介、タイにおける健康食品表示の紹介を頂くとともに、認証手続きにおける直接の問合せ窓口を紹介された。



タイFDAでの協議

タイ保健省訪問

6月20日午後、タイ保健省を訪問し、保健省歯科部門、タイFDA化粧品部門(歯磨き剤を管轄)と協議を実施した。前日のタイFDA医療機器部門、食品部門との協議内容を報告し、両国で協力し取り組むためのサポートを依頼するとともに、歯磨き剤に含まれる成分についてのタイにおける現状確認と提案を行った。提案を元に、含有成分による歯磨き剤の取扱い分類に関する質疑応答・議論が行われ、当該成分が含まれる歯磨き剤の詳細データを提供できるよう依頼を受けた。



タイ保健省での協議

タイ・日本デンタルセミナー

6月21日午前中、タイ保健省、タイFDA、タイの大学歯学部関係者を招き、バンコク市内のホテルにて歯科医療に関するセミナーを開催した。日本から新潟大学大学院 歯医学総合研究科の魚島教授、医療法人社団 ヘル歯科の鈴木理事長(兼ADF専務理事)、タイからシーナカリンウィロート大学のNarongsak副学長、マヒドン大学のCholtacha教授、チュラロンコン大学のAtiphan教授の計5名による講演がなされ、タイ・日本双方における歯科医療の取組と課題が共有された。



デンタルセミナーでの講演の様子

企業展示・ネットワーキングランチ

デンタルセミナーに続き、6月21日午後にはホテル内の隣接した会場において参加企業5社による製品・カタログ展示と、セミナー参加者

によるネットワーキングランチを実施した。参加したタイ政府・大学関係者は熱心にブースの製品を見学し、参加企業からの説明に耳を傾けていた。



参加企業の説明を聞くタイ政府関係者

シーナカリンウィロート・マヒドン・チュラロンコン 各大学訪問

セミナー講演を依頼したシーナカリンウィロート、マヒドン、チュラロンコンの3大学を訪問し、施設見学を行った。見学中には、各施設の紹介とともに、タイに事業所を持つ企業の優位性、大学に技術者が常駐しサービス提供している欧米の機器メーカーの取組等について説明を受けた。



大学での施設見学

編集：MEJ事務局

※ MEJ ニュースレターより引用